

## 令和8年度使用教科書選定理由書

## 【1 選定に係る基本方針】

県立 栗橋北彩 高等学校

本校の目指す学校像は、「生徒や保護者に寄り添い、地域に根ざした「社会人」へと育む学校」である。この学校像を築くための教育目標として次のような目標を設定している。

- (1) 目標に向かって、計画的・持続的に努力しようとする人間の育成
- (2) 主体的に考え、課題意識を持って意欲的に行動する人間の育成
- (3) 公共の精神を持ち、地域社会の将来・発展に貢献でき、心身の調和のとれた豊かな人間性の育成

本校生徒の進路は、おおよそ就職5割、専門学校4割、大学短大1割である。約半数の生徒が、高校卒業後に実社会で働くことを希望している。

教育課程は、個々の生徒の進路に応じた指導をするために2年次から4つのプラン（プログレスプラン・ステップアッププラン・ビジネスプラン・ホームエコノミクスプラン）を設置し、生徒の進路や興味関心に合わせた選択ができるようにしている。プログレスプランは、進学のための学習に対応したカリキュラムを設定している。ステップアッププランは基礎力の定着を目指し、様々な職種への就職や専門学校進学に対応したカリキュラムを設定している。ビジネスプランは、文書作成や情報処理などの事務系への就職に対応したカリキュラムを設定している。ホームエコノミクスプランは、保育系の短期大学・専門学校への進学に対応したカリキュラムを設定している。これらの本校の重点目標・進路希望状況・教育課程及び生徒の学習実態を踏まえ、以下の観点に配慮しながら、教科書選定を行っている。

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、自ら進んで学習する態度の育成を図るための工夫がされていること。
- 知識・技能を活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されていること。
- 主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されていること。
- 規範意識を高め、自他の生命を尊重する態度を育成し、豊かな感性や情操を養うために、工夫されていること。
- 学ぶことや働くことの意義を理解し、家庭や地域との絆を大切にしながら、公共心や安全への意識を高めるために、内容が工夫されていること。
- 教科書として、内容の配列、分量が適切で、資料等の表現が生徒にとって使いやすい工夫がされていること。

※ 学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。